

ペダル取り付け方法 スマートィ/エッグビーターM×R取り扱い説明書

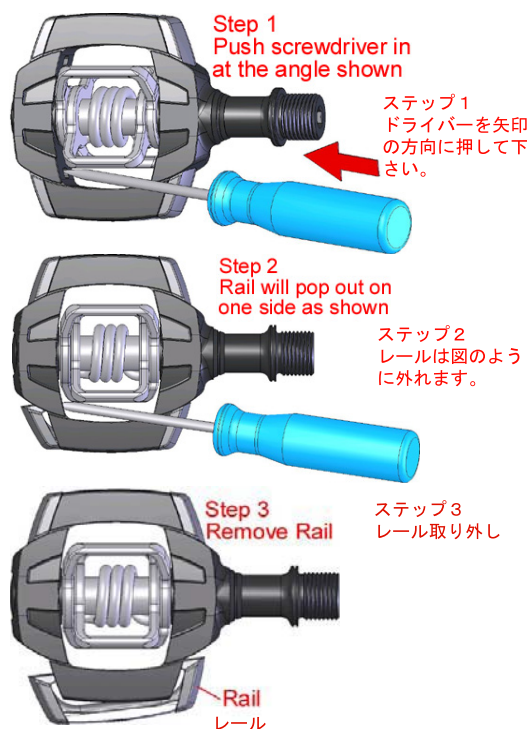
スマートィとM×Rペダルはスピンドル端面に6mmヘックスレンチ用のくぼみがあります。左右の目印として左側ペダルのスピンドルの縁に細い溝が入っています。重要：右側ペダルのスピンドルは時計回りのネジが切られています。左側ペダルのスピンドルは反時計回りのネジが切られています。スピンドルのネジ部分にはグリスを付けて6mmヘックスレンチで指定トルク(3.4~4.1Nm)で締め込んで下さい。



スマートィ・ペダルのみ：レール交換：

レールは交換して色を変えることができます。下記の交換方法を参照下さい。

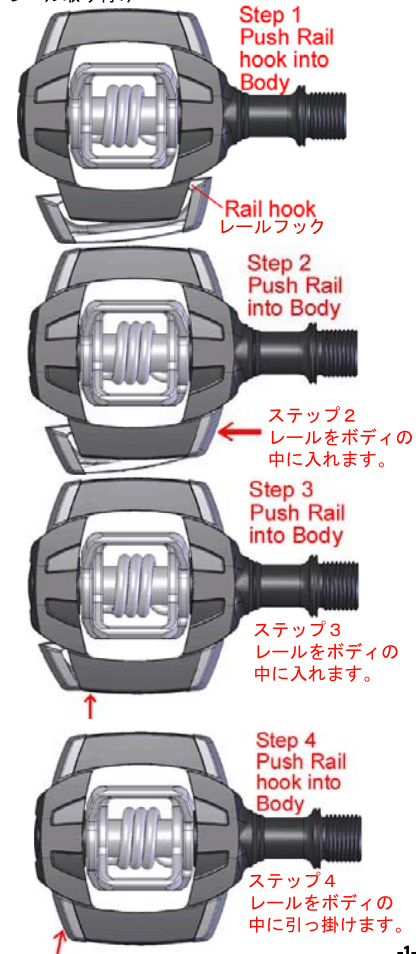
レールの取り外し



ロゴ部品の取り付け



レール取り付け

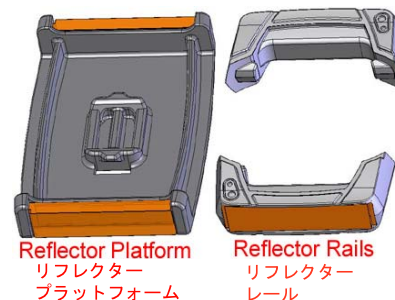


保証規定

クランクブラザーズのスマートィ/エッグビーターM×Rペダルは当初のご購入者に対し、ご購入の日から1年間材料および製品に欠陥がないことを保証します。また当社では偶発的に、あるいは間接的損害については責任を負いかねます。お買い上げのクランクブラザーズ・スマートィ/エッグビーターM×Rペダルの機能に問題がある場合は、クランクブラザーズ販売店までご連絡ください。

注意：ペダルの取り付け、ご使用前に下記事項を必ずお読みください。

- 取り扱い説明書はペダルの取り付け前に必ずお読み下さい。説明書を読まずに取り付け、使用すると思わぬ怪我をする場合があります。
- アフターマーケット用のスマートィ/エッグビーターM×Rペダルにはリフレクターが付属していません。スマートィ/エッグビーターM×Rペダル用のリフレクターは別売りで用意されています。ペダルにリフレクターを付けない状態での走行は夜間や視界不良時に不向きです。夜間ではリフレクターと一緒にヘッドライト、テールライトも併用して下さい。
- 正しく取り付けられていない状態や改造されたもの、また極端に磨耗した状態のスマートィ/エッグビーターM×Rペダルは使わないで下さい。定期的に磨耗やダメージをチェックして下さい。見るからにダメージのある場合や磨耗しているときはすぐに交換するか修理して下さい。締め込みが緩い状態や強すぎる状態、ダメージのある状態、潤滑材が足りない状態、部品が磨耗している状態でペダルを使うと正しく作動しないことがあります。
- 正しい取り付け方法が分からないとき、メンテナンス方法などはお買い上げの販売店にご相談下さい。
- ペダルの各部品は汚れていない状態にして下さい。走行中の転倒防止のために自転車全体の各部品が正しく取り付けられ整備がされていることを確認して下さい。また走行の際は必ずヘルメットを着用して下さい。
- 走行する前にスマートィ/エッグビーターM×Rペダルの着脱機構の仕組みを確認して下さい。停止している状態で片足ずつペダルの着脱を繰り返し練習して下さい。
- クリップレス・ペダルの経験者も走行する前にペダル着脱の練習をして下さい。
- クリップレス・ペダルは特別な自転車専用シューズが必要になります。スマートィ/エッグビーターM×RペダルのクリートはシマノSPD用の2穴シューズに対応しています。シューズによっては靴底部分を加工するまたはスペーサーを入れる必要がある場合があります。備考：スマートィ/エッグビーターM×Rペダルのクリートはクランクブラザーズのすべてのペダルに対応します。
- クランクブラザーズのクリートと一緒にスマートィ/エッグビーターM×Rペダルをご使用下さい。
- 常にクリートの状態をチェックして磨耗しているときは交換して下さい。
- クリートが正しく取り付けられていないと膝を痛めることがあります。左右それぞれの足の状態に合わせてクリートを取り付けて下さい。
- スマートィ/エッグビーターM×Rペダルはクリート位置が低いロープロファイル設計です。他社ペダルと比較してクリート位置が低くなる場合がありますのでそのときはサドル位置を少し低くして下さい。
- ペダルの取り付けや使用方法、メンテナンス方法についてさらに情報が必要なときはお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。また常に走行時にはヘルメットを着用し交通ルールを守って下さい。夜間を走行する場合はヘッドライト、テールライトを付けて下さい。



リフレクタープラットフォームはスマートィ/エッグビーターM×Rペダルの両方に対応します。リフレクターレールはスマートィペダルのみ対応します。

お問い合わせ

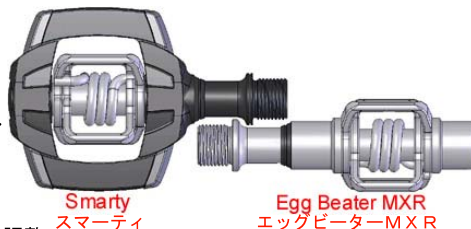
ライトウェイ プロダクツ ジャパン株式会社
東京都豊島区南池袋3-18-34池袋シティハイツ102
Phone:03-5950-6002 Fax:03-5956-8028 www.riteway-jp.com



#79500-103 REV-A

仕様

スマーティとエッグビーターMXRペダルは同じ内部部品を使用しています。スマーティペダルは踏み面が2面でクリート面が4面です。エッグビーターMXRペダルは踏み面/クリート面が4面です。このデザインは他社ペダルではできない多彩なクリート固定方法を可能にしています。スマーティ/エッグビーターMXRペダルは耐泥掃け性、耐久性に優れ、6度のクリート・アライメントがあります。



クリート取り付けと調整

クリートはすべてのシマノSPDペダル用シューズに対応しています。クリートには前後方向はありませんが左右方向があります。違いはクリート・アライメント角度が変わります。ロードシューズ用のクリートもあります。

クリートに丸印が2つある方を右足に取り付けると両足のリリース角度が15度になります。

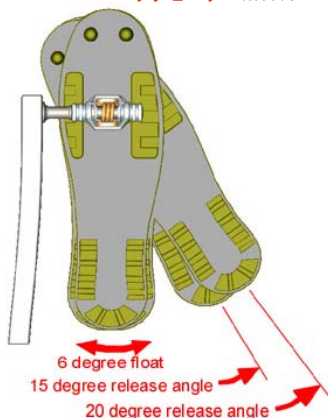
クリートに丸印が2つある方を左足に取り付けると両足のリリース角度が20度になります。



丸印2つクリート



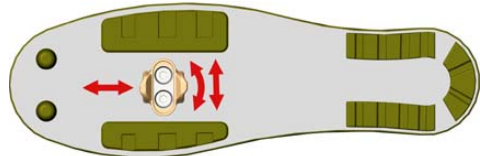
丸印なしクリート



クリートリリース解説：丸印2つクリートを右足に取り付けた場合、両足の踵を外側にひねったときリリース角度は約15度になります。内側にひねったときはリリース角度は約20度になります。丸印2つクリートを左足に取り付けた場合、両足の踵を外側にひねったときリリース角度は約20度になります。内側にひねったときはリリース角度は約15度になります。クリート自体はそれぞれ左右対称ですので左右同じ角度でリリースされます。スチールワッシャーと一緒にクリートを固定して下さい。

初心者の方は丸印2つクリートを右足に取り付けることをお勧めします。

ステップ1：クリートをワッシャーと一緒にシューズの取り付け面に置きます。4mmヘックス・ネジをクリート、ワッシャーを通してシューズ内部のメタルプレートに固定します。ネジをしっかりと指定トルク(4~5Nm)で固定します。備考：クリートの角度は微調整することができ、横にスライドさせることもできます。調子の良い位置に調整して下さい。



ステップ2：片足を地面に付けたままもう片方の足のシューズをペダルに固定して下さい。足を数回前後に動かして固定されている感覚を確認して下さい。クリートをベストポジションにセットできればスムーズなペダリングが可能になります。踵を外側にひねって足をペダルからリリースして下さい。

ステップ3：クリートが間違った位置にセットした場合、クリートを固定しているネジを緩めて角度を再調整して下さい。ネジを再固定してステップ2を繰り返して下さい。

スプリング テンション

一般的なクリップレスペダルの場合、スプリング テンションが弱いと簡単にリリースできるのと同時に不意にリリースされてしまうことがあります。スプリング テンションが強い場合は固定、リリースがきつくなります。

クランクブラザーズ独自のデザインではこのスプリング テンションの調整は必要ありません。クリートの固定力はスプリングのテンションに関係がなく、固定とリリースを繰り返すと馴染みが出てきます。

泥詰まり

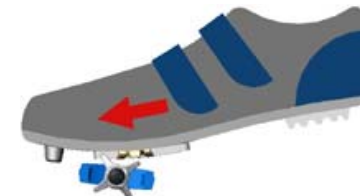
スマーティ/エッグビーターMXRペダルは基本的に泥や汚れに影響を受けませんが、泥が詰まっているとクリートを固定するのに足を前後に動かして邪魔な泥を落とす動作が必要になります。泥を落とすのに高圧洗浄器は使わないで下さい。

シューズとペダルの固定

スマーティ/エッグビーターMXRペダルにはいくつかの固定オプションがあります。どの固定オプションでもペダルを十分に広げるための踏み込む力が必要です。シューズのクリートがペダルに固定されるとき”クリック”音がします。ペダルに固定されていることの確認はシューズを上方に引き上げて下さい。

固定オプション1：

シューズをペダルに踏み込み、前に押し出します。



固定オプション2：

シューズのクリート面をペダルの後方から前方に踏み込むようにずらしてペダルゲージを回転させて固定します。



固定オプション3：

シューズのクリート面をペダルの前方から後方へ引くようにずらしてペダルゲージを回転させて固定します。通常、クランクを踏み込むときにペダルゲージを回転させて固定すると簡単です。



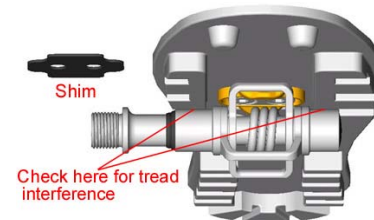
これらの固定テクニックは練習が必要です。片足を地面につけた状態で反対側のペダルの固定とリリースの練習を数回両足で行って下さい。クリップレス・ペダルの経験者も数回練習を行ってペダルの馴染みを出して下さい。ペダルの固定、リリースに慣れてからオフロード等にお出かけ下さい。

ペダルのリリース

シューズの踵を外側にひねるとペダルからリリースできます。踵を内側にひねってもリリースは可能ですが自転車に足を引っ掛ける危険があります。最も簡単で安全なリリース方法は踵を外側にひねる方法です。踵を内側にひねるリリース方法を選択する場合は、丸印2つクリートを左足シューズに取り付けることをお勧めします。

シューズ裏面トレッドの干渉(固定とリリースが困難な場合)

シューズの中には裏面トレッドが通常よりも高いものがあります。スマーティ/エッグビーターMXRペダルと組み合わせて使うと裏面トレッドが干渉して固定とリリースが困難な場合もあります。このような裏面トレッドの干渉がある場合は、シムが問題を解決します。本来ならばシューズの裏面トレッドは軽くペダルに接しています。このとき簡単にペダルの固定とリリースが可能です。まず、シューズを履かないでペダルに固定して裏面トレッドとの干渉を確認してください。ペダルがシューズの裏面トレッドと大きく干渉している場合は固定とリリースが困難になる可能性があります。この場合は付属のシムを使用するか、裏面トレッドを削って対応して下さい。裏面トレッドを削る場合はグラインダーまたはナイフで少しずつトレッドを削るようにして下さい。シムを使用する場合は、クリートをシューズから外してシムを挟んで下さい。シューズ裏面トレッドとペダルに干渉がない場合はペダルとシューズの固定が不安定になるのでシムを使わないで下さい。多くのシューズは裏面トレッドとの干渉はありません。



メンテナンス

スマーティ/エッグビーターMXRペダルはほとんどメンテナンスの必要がありません。通常であればベアリングは防水加工がされています。各部品は防食性があります。ペダルを外から注油する必要はありません。ペダルに付いた泥や汚れはほとんど勝手に落ちて行きます。ただ定期的にペダルのダメージ、磨耗、各部の遊びを確認して下さい。クリート：クリートは磨耗をしますので交換が必要になります。常にクリートの状態を確認して磨耗の状態を見て下さい。ペダルが不用意に外れる場合はクリートが磨耗している状態ですので交換して下さい。クリート材はペダルゲージの部材よりも柔らかい材料で作られています。これは意図的にペダルよりもクリートが磨耗するように設計がされています。乗車スタイルや状態に依りますが通常、クリートは300~500時間で磨耗します。